



第三回札幌公演

蘭翔の会

二〇一九年七月二十日「土」

開場／十五時 開演／十五時三十分

札幌市民ホール

札幌市中央区北一条西二丁目

プレミアムシート・指定席／二〇、〇〇〇円 S席・指定席／八、〇〇〇円

A席・指定席／六、〇〇〇円 B席・自由席／二、〇〇〇円 ※未就学児入場不可

作曲／坪内逍遙
作曲／十四世松屋六左衛門
五世松屋勘五郎
振付／藤間藤子

長唄

新曲浦島

藤間蘭翔

常盤津

積恋雪関扉

関守関兵衛 実ハ大伴黒主

藤間蘭黄〈特別出演〉

良峯少将宗貞

片岡愛之助〈特別出演〉

小野小町姫
傾城墨染実ハ小町桜の精

藤間蘭翔

監修 藤間蘭黄

主催／道新文化事業社、蘭翔の会事務局 共催／藤間蘭翔北海道後援会
後援／北海道北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会（公財）北海道文化財団、
北海道新聞社、道新スポーツ、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、
H T B北海道テレビ、U H B北海道文化放送、V H テレビ北海道

第三回札幌公演

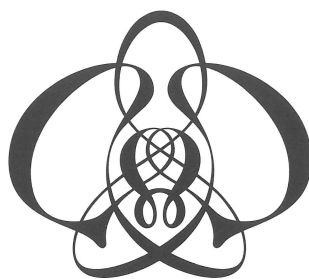
蘭翔の会

二〇一九年七月二十日〔土〕

札幌市民ホール

札幌市中央区北一条西二丁目

開場／十五時 開演／十五時三十分



特別出演
片岡 愛之助



監修／特別出演
藤間 蘭黄



出演
藤間 蘭翔

ふじまらんしょう 藤間流師範
江戸時代から続く「代地」藤間家の後継者である藤間蘭景師、蘭黄師に師事。
東京藝術大学 邦楽科 日本舞踊専攻 卒業。
新春大会賞受賞。
東京、札幌にて日本舞踊教室を主宰。
<http://www.ranshou.jp>



長唄 新曲浦島

藤間 蘭翔

坪内逍遙が試みた大舞踊劇「新曲浦島」の序曲に藤間藤子が振付けた作品です。全幕が上演されることはほとんどありませんが、この序曲は名曲として知られ、踊り継がれています。主人公の浦島太郎は登場せず、物語の舞台である、丹後の国の澄の江の浦の海の風景を謳っています。大海原ののどかな景色、荒浪が岩にくだけて散る勇敢さ、夕焼け空から次第に夕闇がせまり、帰りを急ぐ船頭の舟唄、そして風立ち込めて夕嵐が騒ぎ始めるという海。さまざまに変化する情景を日本舞踊の技法を駆使して美しく描きます。

常盤津 積恋雪関扉

つもるこいゆきのせきのと

関守関兵衛 美ハ大伴黒主 藤間 蘭黄 〈特別出演〉
良峯少将宗貞 片岡 愛之助 〈特別出演〉
小野小町姫 傾城墨染 美ハ小町桜の精 藤間 蘭翔

天明四年（1784年）に初演された歌舞伎舞踊の最高傑作の一つ。通称「関の扉」として現在でも人気を誇る大曲です。舞台は逢坂の関。テーマは恋。雪の中に桜が咲いている不思議な光景。上の巻では、そこに美しい小町姫がやってきます。関所には小町の恋人、宗貞が逼塞（ひっそく）しています。関所を通ろうとする小町に声をかける関守の関兵衛。じつはこの関兵衛は、天下を狙う大悪人の大伴黒主が身をやつした姿。正体を現さないまま、小町と宗貞とともに踊ります。下の巻では、酒を飲む関兵衛の前に傾城（高級遊女）の墨染（すみぞめ）と名乗る美女が現れ、「あなたに会いに来た」と。関兵衛は悪い気はしません。が、じつはこの墨染は、黒主（関兵衛）に恋人を殺された、桜の精。お互い正体を現した二人は大立ち回りを繰り広げます。小町姫と傾城墨染、桜の精の二役、三人格に蘭翔が挑みます。見どころ満載の舞踊劇です。

演 奏／常盤津一佐太夫・常盤津菊寿郎 社中 杵屋勝四郎・杵屋栄八郎 社中 堅田新十郎 社中

◎チケット販売所
お問い合わせ

蘭翔の会 事務局
札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀ビル7階 060-0042
TEL.011-251-8511 FAX.011-251-8575 E-mail mori@hk-plaza.co.jp

道新プレイガイド
TEL.011-241-3871
www.doshin-playguide.jp



主 催／道新文化事業社、蘭翔の会事務局 共 催／藤間蘭翔 北海道後援会
後 援／北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、（公財）北海道文化財団、北海道新聞社、道新スポーツ
HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ放送、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道

予 告 「蘭翔の会」 第一回 東京公演
日時／2019年10月16日〔水〕 会場／国立小劇場 開場／18時30分 開演／19時
◎お問い合わせ／蘭翔の会 事務局 mori@hk-plaza.co.jp